

# 大阪支援教育研究会インクルーシブ教育研究プロジェクト

2024年度第1回報告

## 「インクルーシブを目指した支援教育」 ～インクルーシブ教育ってなに？～

日時：令和6（2024）年6月28日（金） 14時～16時30分

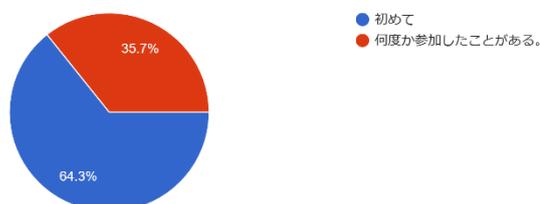
場所：たかつガーデン 2階 鈴蘭

講師：丹羽 登 氏 関西学院大学教育学部教授・元文部科学省初等中等教育局  
特別支援教育課特別支援教育調査官

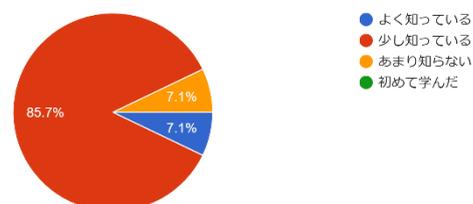
参加人数：19名

### アンケートより

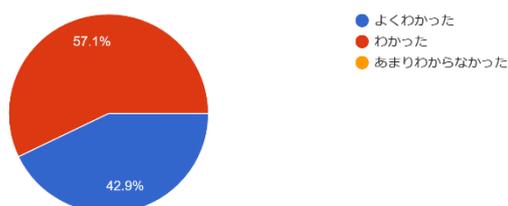
大阪府支援教育研究会の研修に参加されたことはありますか？  
14件の回答



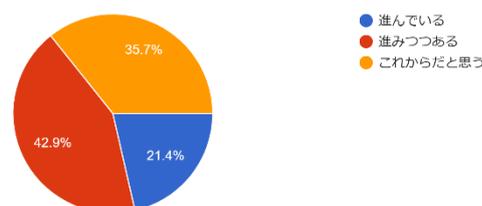
インクルーシブ教育システムについて、どの程度ご存知でしたか？  
14件の回答



今日の研修を受けて、インクルーシブ教育システムについて、よくわかりましたか？  
14件の回答



勤務されている学校では、インクルーシブ教育がすすんでいると思いますか。  
14件の回答



## 【感想】

※インクルーシブ教育システムは、今何かがあるわけではなく、これから構築していく、というイメージを持ちました。

※自校で取り組んでいけたらと思う気づきがたくさんありました。ありがとうございました。

※本当に色々と勉強になりました。現場で明日から使えるもの、法律的な所で組織運営に関わる所など通級学級の有益な利用の仕方を知ることができました。

※インクルーシブ教育の入門編として、大変参考になりました。支援教育に対する考え方から子どもたち個々の障がいの特性など、今後インクルーシブ教育を進める上でのヒントをたくさんいただきました。

※豊中で通級教室が全校配置になった理由がよくわかった。その他官製の研修では聞けないようなことがたくさん聞けたので参加してよかったと思った。

※インクルーシブ教育のあり方や通級指導を積極的に進めることなど、例示や経験談を話して下さったので、理解しやすかったです。

※今悩んでいるのは、抽出か退級かという判断を迫られていることです。今日のお話で抽出、通級の話はよくわかりました。私の考えるインクルーシブ教育は入り込み支援です。支援学級退級が進むと、教室の中でまさに困っている子の支援を誰がするのか疑問です。

※特別支援学級や通級指導教室の現状や、今後どうやって各学校の支援教育を充実させていくかのお話が今後の参考になりました。ありがとうございました。

※専門用語だけサクサク理解できず、そこに躓いてしまうのですが、国が進めようとしていることも、今始まっていることも、よく分かりました。豊中市で初任者指導をしておりますので、正しい理解と、より良いサポートが出来る先生を増やせるように取り組んでまいりたいと思います。

※障がい名だけでなく、一人ひとりの特性に応じた支援が必要なことをあらためて感じました。

※附属小学校でも不登校、学習不振が多くなります。しかし、学力が低いというよりは、読み書きの苦手さなど別の要因の児童もいるように感じていますが、なかなか理解してもらうには難しい環境だなと思っていた所です。児童に対する支援体制は整っておらず、教室に入れない児童は、保健室で学習しても評価してもらえないような状況にいます。東京学芸大さんでの実践や大学生の事例など聞くことがで、自分のできることから取り組み続けたいなと思いました。本日はありがとうございました。